

II. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	福島市保健福祉センター維持運営事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		福島市					
交付金事業実施場所		福島市森合町10番1号					
交付金事業の概要		福島市保健福祉センターの電気代5ヵ月分（6月～10月分）に交付金を充当し、センターの円滑な運営を図ります。					
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策</p> <p>○第6次 福島市総合計画まちづくり基本ビジョン（2021－2025）</p> <p>第4編 重点施策4 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進</p> <p>個別施策10 保健衛生・健康危機管理体制の充実</p> <p>人の命と健康を脅かす感染症や食中毒などの健康危機事象防止のため、日ごろから地域や職場において予防対策を意識した健康づくりを進めるとともに、健康危機事象が発生した場合は、市民、事業者、行政が一体となり、被害を最小限に抑えるための対策に迅速に取り組んでいます。</p> <p>目標：保健福祉センター利用者数 60,000人（6月～10月）</p>					
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度		令和4年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和4年度	
		施設利用者数 60,000	施設利用者数	成果実績	人	31,043	
				目標値	人	60,000	
				達成度		51.7%	
		評価年度の設定理由					
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度早期に評価を実施します。					
		交付金事業の定性的な成果及び評価等					
		新型コロナウイルス感染防止の観点から、施設利用の制限を行ったことにより、目標値を大きく下回る結果となった。感染防止対策と保健福祉サービスの両立をどのように図るか、今後検討していきます。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標		単位	令和4年度	令和 年度	
		保健衛生・健康危機管理（感染症対策）に関する日常業務		活動実績	日	365	
				活動見込	日	365	
				達成度		100.0%	

交付金事業の総事業費等	令和4年度	年度	年度	備考
総事業費	14,151,955			
交付金充当額	8,829,000	0	0	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	8,829,000			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
電気料	随意契約	東北電力株式会社	14,151,955	
交付金事業の担当課室	健康福祉部 保健所 保健総務課			
交付金事業の評価課室	政策調整部政策調整課			

II. 事業評価個表（令和4年度年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	地域活性化措置	市道白山線道路改良工事				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		福島市				
交付金事業実施場所		福島県福島市飯野町字白山 地内				
交付金事業の概要		蓬萊発電所飯野ダムへのアクセス道路の整備に交付金を充当し、蓬萊発電所飯野ダムへ向かう大型車両の安全性の確保及び、地域住民の生活の利便性の向上を図ります。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策 第6次福島市総合計画まちづくり基本ビジョン（2021～2025）（案） 第5編 個別施策 23. 道路交通ネットワークの整備 <目指す姿：5年後に到達したいと考える本市のあるべき状況や状態> 徒歩、自転車、自動車、公共交通を利用し、安全で快適に都市間・地域間・拠点間を移動できる道路交通ネットワークが形成される。 <施策の方向性：本個別施策を今後5年間どのような方向性をもって取り組むかを示す> （2）誰もが安全で快適に利用できる福島らしい道路空間の創出 ①道路の拡幅や歩道設置、段差解消など、人にやさしい歩行空間を形成し、子どもを事故から守り高齢者や障がい者が安心して安全に利用できる道路環境の整備を推進します。 目標：市道白山線の全線開通 830m（令和6年度）</p>				
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度		令和4年度	
事業期間の設定理由		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度に評価を実施。				
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和4年度
		市道白山線における道路改良率78.8%	市道白山線における道路改良率	成果実績	%	78.8
				目標値	%	78.8
				達成度		100.0%
		評価年度の設定理由				
		毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度に評価を実施。				
		交付金事業の定性的な成果及び評価等				
		道路拡幅により車両の安全性が確保されるとともに道路の利便性が向上しました。				
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	令和 年度	令和 年度
	道路改良延長		活動実績	m	61.4	
			活動見込	m	61.4	
			達成度		100.0%	#DIV/0!
交付金事業の総事業費等	令和4年度	年度	年度	備考		
総事業費	8,496,400					
交付金充当額	7,015,000	0	0			
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	7,015,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
道路改良工事		指名競争入札		(有)松本建設		8,496,400
交付金事業の担当課室		建設部道路建設課				
交付金事業の評価課室		政策調整部政策調整課				

-
- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の概要の欄は、事業内容、必要性、期待される効果等を記載すること。
- (4) 交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標の欄は、当該事業が関連づけられている当該都道府県又は市町村の上位政策・施策とその目標を記載すること。
- (5) 事業期間が複数年度にわたる事業については事業期間の設定理由を記載すること。
- (6) 成果目標及び成果指標の欄は、交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標を踏まえて定量的に記載すること。当該事業の定量的評価が困難な場合には、成果目標の欄に、定性的な目標を、交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄に、定性的な成果及び評価を記載すること。
- (7) 評価年度及び評価年度の設定理由の欄は、交付金事業の内容、成果目標及び成果指標を踏まえ記載すること。
なお、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合、評価年度の設定には当該機関等による評価実施時期も考慮すること。
- (8) 成果実績の欄は、評価年度に成果指標に基づき測定した数値を記載すること。ただし、評価年度が到来していない場合は、成果実績の欄は空欄とし、評価年度に別途、報告を行うこと。
なお、成果実績を別途報告する際に、交付金事業の評価に第三者機関等を活用する場合には、当該機関等による評価についても、併せて報告を行うこと。
- (9) 交付金事業の定性的な成果及び評価等の欄は、上記(6)の定量的評価が困難な場合における定性的な成果及び評価の記載のほか、成果実績が目標値に達しない場合の要因分析及び次年度に向けた改善点並びに評価に第三者機関等を活用した場合には当該機関等の評価を記載すること。
- (10) 評価に係る第三者機関等の活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合には、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。
- (11) 交付金事業の活動指標及び活動実績の欄は、当該事業の進捗度、利用量等の活動量を記載すること。
- (12) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。
- (13) 交付金事業の担当課室の欄は事業を実施した課室を、交付金事業の評価課室の欄は事業評価を実施した課室の名称を記載すること。事業実施課室と評価実施課室が同一でも差支えない。